

実施期間：2019年2月1日～2月28日

公表日：2019年5月15日

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

7名中7名回答

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	2	1	適切ではあるが、利用児童が多い日は、窮屈に感じる時がある。家具等の配置見直しにより改善中。
	2	職員の配置数は適切であるか	2	3	2	適正の人数ではあるが、利用児童の人数、活動の内容によっては、対応に不安がある場合があり、安全性を考慮した場合、増員が望ましい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	2	2	玄関の段差はあるが、現利用者には適切であり、配慮もなされている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか	6	1		事前の目標設定、予定についての打ち合わせ、反省収集・改善方法の模索に職員全員が参加し、繰り返し行われている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			評価をまとめ、保護者様の要望を把握している。車いすの購入など改善可能な要望への対応が行えている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			事業所内掲示板公表から、ホームページへの移行が完了し公開できている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	1	4	前向きに検討したい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			事業所内研修の他に、開催される研修情報の収集・参加・報告書での共有を図っている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			定期的な会議を実施し、反映している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	4		標準化されたアセスメントツールの使用には至っていないが、社内で活用しているシートをもとに家族とのヒヤリングを行い適応行動の把握を行っている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1		担当者がプログラムを立案後、全員に周知し意見を出し合えるようにしている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			会議や情報収集を行い、状況に合った活動ができている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7			一日の流れに応じて、タイムスケジュールを決めている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1		特性に合わせた活動ができるよう計画を立案し実施している。短時間の活動の中で難しい面があるが、個々の特性に合わせた活動ができている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			支援開始前に打ち合わせを必ず行っている。前日の申し送りを行い確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	1		気になることがあれば、業務日誌に記載し、支援、反省、児童の状況を把握している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			個別記録に残し職員同士、共有している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			全職員でモニタリングを行い、計画案に反映できるようにしている。

実施期間：2019年2月1日～2月28日

公表日：2019年5月15日

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

7名中7名回答

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ 合わせて支援を行っているか	3	4		ガイドラインを意識し、取り組んでいる。
関係機 関や保 護者 との連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議 にその子どもの状況に精通した最もふさわし い者が参画しているか	5	1	1	児発管の参画は行っていたが、もっとも精通 した職員の参加も行うように改善を図ってい る。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の 交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調 整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡） を適切に行っているか	4	2	1	行えている学校もあるが、保護者からの情報 に頼っている場合もある。 送迎時等に情報を得て、職員にも伝達してい る。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えてい るか	4	3		現在受け入れていないが、受け入れている事 業所への支援にて経験を培っている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定 こども園、児童発達支援事業所等との間で情 報共有と相互理解に努めているか	6	1		個別の対応情報をいただき、支援に役立てて いる。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所 から障害福祉サービス事業所等へ移行する場 合、それまでの支援内容等の情報を提供する 等しているか	2	3	2	現在、対象となる児童はいないが、準備は 行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セン ター等の専門機関と連携し、助言や研修を受 けているか	5	2		研修への参加を積極的に行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害 のない子どもと活動する機会があるか	3	2	2	他児との交流がとれる公園での活動を、取り 入れている。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加し ているか	3	4		地域のこども部会に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 を持っているか	7			連絡帳や送迎時に、日頃の様子をお伝えし、 発達や課題の状況を共有している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護 者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っているか		7		相談がある場合は行っている。
保護者 への説 明責 任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につい て丁寧な説明を行っているか	7			新規契約時の面談にて、書面と口頭にて丁寧 に説明ができています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、必要な助言と支援を行っている か	7			必要に応じて、関係事業所を集め、支援の方 法など話し合いを行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を支 援しているか	6	1		父母の会などの集まりはないため、保護者同 士の連携を促す茶話会などを定期的で開催し ている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の 体制を整備するとともに、子どもや保護者に 周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に 対応しているか	7			些細な事でも都度、職員で情報を共有し、電 話や面談によって対応するようにしている。

実施期間：2019年2月1日～2月28日

公表日：2019年5月15日

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

7名中7名回答

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			2～3か月に1度の発行を継続している。
	35	個人情報に十分注意しているか	6	1		サービス提供外時の個人情報保管先の施錠。社員への個人情報の取り扱いについての誓約書の取り交わしをきちんと行い注意喚起を行っている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	4	2	地域住民を招待する催し(夏祭り)を過去開催したことがあり、定期開催を計画している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	3	1	策定はできているが、自らが把握しきれていないところがある。保護者への周知の方法も検討したい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			定期的な避難訓練の実施の他に、災害関連の読み聞かせ、消防体験への参加を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	1		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	1	6		対象児童はいないが、身体拘束に関してのガイドラインを意識し、把握している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	4		保護者との情報共有に基づき、アレルギー対応を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	1		ヒヤリハット、事故が発生した際は記録し、都度、再発防止を話し合っている。